

第135回生存圏シンポジウム
第5回国際研究集会「南アジアの気象環境と人間活動に関する研究集会」
Relationship between weather environment and human activity in South Asia

主旨：南アジアにおける人間活動は、モンスーンによる雨期、乾期の明確な季節変化、雨期の活発期と停止期の季節内変動、日変化など様々な時間、空間スケールを持った気象現象によって大きく影響を受けています。さらに、サイクロン、洪水、トルネードなどの気象災害も多発しています。このような厳しい気象条件と共生している人間生活を、社会科学と自然科学の立場から総合的に議論することを目的として、この研究集会を開催致します。

なお、この研究集会は、以下の3つの研究プロジェクトの研究報告会を兼ねます：

- ・京都大学東南アジア研究所公募研究「巨大災害に対する民衆の知恵—ミャンマー・イラワジ管区マウービン群の村落における事例研究」（研究代表者：林 泰一（京都大学防災研究所））
- ・京都大学東南アジア研究所共同研究会
「農村開発における地域性」（研究代表者代表：安藤和雄（京都大学東南アジア研究所））
- ・科学研究費基盤A「ベンガル湾縁辺における自然災害との共生を目指した在地のネットワーク型国際共同研究」（研究代表者：安藤和雄（京都大学東南アジア研究所））

日時：2010年1月30日（土）13時から1月31日（日）13時まで

場所：京都大学東南アジア研究所 稲盛財団記念館小会議室Ⅱ

1月30日

【主旨説明】13:00-13:05 林泰一（京都大学防災研究所）

【セッションⅠ 農業・地域】13:05-14:25 座長 宮本真二（琵琶湖博物館）

13:05-13:25

インド・アッサム州、ブラマプトラ川氾濫原における2009年モンスーン期の稲作
浅田晴久（京都大学アジアアフリカ地域研究科）

13:25-13:45

バングラデシュの自然災害を巡って
内田晴夫（農研機構近中四農研センター）

13:45-14:05

世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業：「南アジア周縁地域の開発と環境保全のための当事者参加による社会的ソフトウェア研究」の成果報告—バングラデシュ・ハオールにおけるケーススタディを中心に
南出和余（京都大学地域研究統合情報センター）

14:05-14:25

南アジア周縁地域の開発と環境保全のための当事者参加による社会的ソフトウェア研究の成果と展望
安藤和雄（京都大学東南アジア研究所）・矢嶋吉司（京都大学東南アジア研究所）・南出和余（京都大学地域研究統合情報センター）

【休憩】14:25-14:35

【セッションⅡ 気象Ⅰ】 14:35-15:55 座長 山根悠介（京都大学東南アジア研究所）

14:35-14:55

バングラデシュにおける夏季モンスーン期の雲システムの季節内変動

津島俊介（京都大学理学研究科）・林泰一（京都大学防災研究所）・山根悠介（京都大学東南アジア研究所）・寺尾徹（香川大学教育学部）・村田文絵（高知大学理学部）・木口雅司（東京大学生産技術研究所）

14:55-15:15

インド亜大陸北東部の降水過程

康アルム（京都大学理学研究科）・林泰一（京都大学防災研究所）

15:15-15:35

バングラデシュにおける竜巻被害についての現地調査報告

山根悠介（京都大学東南アジア研究所）・林泰一（京都大学防災研究所）・木口雅司（東京大学生産技術研究所）・Ashraf Mahmood Dewan (Dhaka University)・Yead Arefin (Dhaka University)・Taiabut Rahman (Dhaka University)

15:35-15:55

インドネシアアカシアマンガウム大規模造林地における降水特性

山根悠介（京都大学東南アジア研究所）・塩谷雅人（京都大学生存圏研究所）・林泰一（京都大学防災研究所）・Rosyid Gunawan (Musi Hutan Persada)

【休憩】 15:55-16:15

【セッションⅢ 気象Ⅱ】 16:15-17:15 座長 木口雅司（東京大学生産技術研究所）

16:15-16:35

2008年夏季のバングラデシュにおける多降水量日の特徴

高橋宏晃（高知大学理学部）、村田文絵（高知大学理学部）

16:35-16:55

バングラデシュにおける大気安定度からみた季節変化

村田文絵（高知大学理学部）

16:55-17:15

降水同位体観測ノススメ

一柳錦平（熊本大学大学院自然科学研究科）

【セッションⅣ 地域・農村】 17:15-17:55 座長 内田晴夫（農研機構近中国農研センター）

17:15-17:35

バングラデシュ農村の食生活から見た資源の入手と利用の実態について

吉野響子（東京大学大学院）・ジブン ネッサ（バングラデシュ農業大学）・ラシェドウール ラーマン（京都大学大学院）

17:35-17:55

ブラマプトラ川流域の高所～低所における民族移動と土地開発

宮本真二（琵琶湖博物館）・安藤和雄（京都大学東南アジア研究所）・内田晴夫（農研機構
近中四農研センター）・アバニィ クマール バガバティ（ゴウハティ大学）・ムハマド セ
リム（バングラデシュ農業大学）

【懇親会】 18:30-

1月31日

【セッションV 気象Ⅲ】 9:00-10:00 座長 村田文絵（高知大学理学部）

9:00-9:20

バングラデシュからインド東北部におけるプレモンスーン降水の気候学的考察
木口雅司（東京大学生産技術研究所）

9:20-9:40

ヒマラヤ南麓におけるプレモンスーン季の降水プロセスと循環場の季節進行
福島あずさ・高橋日出男・（首都大学東京）・松本淳（首都大学東京・JAMSTEC）

9:40-10:00

バングラデシュにおける降水と洪水・稲作

松本淳（首都大学東京・JAMSTEC）・森田純平・Roxana Hoque（首都大学東京）・浅田晴久（京
大院アジアアフリカ地域研究科）

【休憩】 10:00-10:10

【セッションVI 医学・気象】 10:10-11:50 座長 林泰一（京都大学防災研究所）

10:10-10:30

南アジアの気象環境と健康影響：低栄養と免疫プログラミング
我妻ゆき子（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

10:30-10:50

地球研エコヘルズプロジェクト進捗状況
門司和彦（総合地球環境学研究所）

10:50-11:10

Climate and Neglected Diseases in Bangladesh

Moazzem Hossain (Osmani Medical College・総合地球環境学研究所招聘外国人研究員)

11:10-11:30

バングラデシュにおける洪水の長期健康影響
橋爪真弘（長崎大学熱帯医学研究所）

11:30-11:50

ダッカにおける下痢症流行パターンに対する気象水文環境の影響
寺尾徹（香川大学教育学部）

【休憩】 11:50-12:00

【セッションⅦ ミャンマー】12:00-13:00 座長 安藤和雄 (京都大学東南アジア研究所)

12:00-12:20

ミャンマーのNGO活動のレビュー

徳永加恵 (海外災害市民援助センター)・大西信弘 (京都学園大学)

12:20-12:40

Existing cropping patterns in central Myanmar: Case study in Le Pyin Thar village, Yemethin district, Myanmar

Lay Lay Khaine (Pwint Phyu Satate Agricultural Institute)

12:40-13:00

Impact of the cyclone Nargis on livelihoods and food security in the selected area of Bogalay, Myanmar

Khin Oo (YAU)

【閉会の辞】 塩谷雅人 (京都大学生存圏研究所)

<開催場所のご案内>

稲盛財団記念館へのアクセスは下記の通りです。

【京都市営バス】

「京都駅前」から市バス4・17・205のいずれかに乗車、河原町通「荒神口」で下車、東へ徒歩5分

【京阪電車】

「神宮丸太町駅」から北へ徒歩5分



<稲盛財団記念館への入館について>

研究集会期間中は土日ですので建物に入るにはカードキーが必要です。開催の30分前から開催時刻まで（30日は14時半から13時まで、31日は8時半から9時まで）下図に示しました建物入口において担当者がカードキーを持って待機しております。この時間帯以後に来られた場合は山根（070-5437-3642）まで直接ご連絡ください。



<懇親会のご案内>

場所：「くれない」（東南アジア研究所建物前の荒神橋を渡ってすぐ）

開始：18時半から

会費：（一般の方）お一人3000円 （学生の方）お一人1000円